

VISION MISSION ACTION >2030

© 2021-2021 JAPAN FOOTBALL FEDERATION FOR PERSONS WITH INTELLECTUAL DISABILITY



特定非営利活動法人
日本知的障がい者サッカー連盟



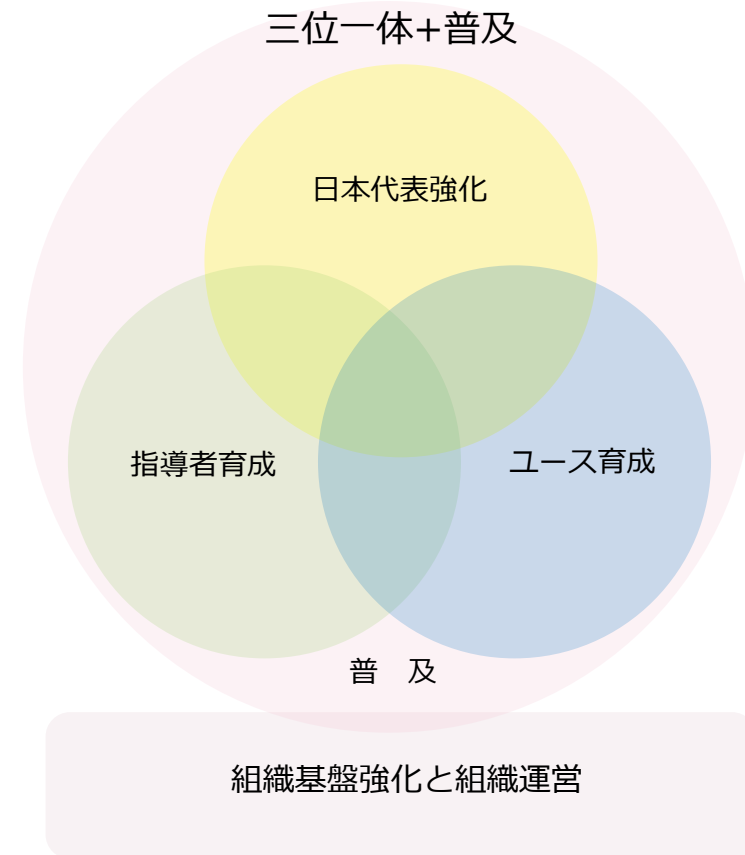
- P03 ビジョン ～夢の実現のために～
- P04 基本理念 ～三位一体+普及～
- P05 各委員会ミッションとアクション
 - ・技術委員会 ～日本代表～
 ～ユース育成～
 ～指導者養成～
 - ・普及委員会 ～普及と強化
・女子委員会 ～組織強化～
 - ・フットサル委員会 ～日本代表～
 ～組織強化～
 - ・日本連盟組織 ～組織運営～
 ～役員と人材育成～
 ～財務～
- P16 PDCAサイクル ～各種モデルケース～
- P17 JFFIDが取り組むSDGs ～持続可能な開発目標～
- P18 組織図と関連団体



- | | | |
|---|--------|------------------------------|
|  | 日本代表 | 2030年世界選手権「もうひとつのW杯」での優勝！ |
|  | ユース育成 | ユース年代代表の海外遠征 |
|  | 指導者養成 | 地域トレセン認定制度の導入 |
|  | 普及 | エンジョイフットボール！キッズからシニアまで！！ |
|  | フットサル | 2030年世界大会BEST 4！ |
|  | 女子サッカー | 夢とモチベーションをもってプレーできる環境を全国に！ |
|  | 組織基盤 | 皆の夢を実現するための自立・安定・認知・支援を創造する。 |
|  | 環境 | 誰もがいつでもサッカーを楽しめる環境整備 |

知的障がいのある人たちが地域でみんなと一緒に個性を認め合い不平等なくサッカーを日常的に楽しめる「生涯スポーツ」の環境が整備された社会を実現します。

知的障がいのサッカー競技が盛んに行われ、全国的・国際的な大会が国内で定期的開催されるとともに国際競技力が向上し、日本代表が世界で活躍できる「競技スポーツ」の発展した社会を実現します。



>MISSION 2025

代表選手と指導者の意識改革

>MISSION 2025

強化指定選手制度

>MISSION 2025

アカデミー構想

>MISSION 2025

定期的な海外遠征によるゲーム経験を増やす

>MISSION 2030

2030年世界選手権「もうひとつのW杯」での優勝

>ACTION 2025

レクチャーのための資料づくり)代表のビデオ・コンセプト・好事例の紹介等作成)

⇒代表部から地域トレセンスタッフへの発信

⇒選手には各地域トレセン時に地域トレセンチーフからレクチャー

>ACTION 2025

健常者チームでのトレーニングや登録の推奨

代表部で指定⇒技術委員会⇒各地域トレセンチーフ⇒都道府県トレセンチーフ

>ACTION 2025

日本代表候補になる可能性のある選手のトレーニング生活環境の整備

>ACTION 2025

ユース年代も含めた日本代表候補選手を海外に派遣し、ゲーム経験、環境を経験させる。

>ACTION 2030

- ・スポンサーの獲得
- ・日本代表強化合宿を月1回開催出来るようにする。
- ・全国の知的障がい者サッカーの普及とユース年代の育成、指導者の養成

>MISSION 2025

U15年代の大会創設

>MISSION 2025

U15・U12年代のサッカー教室やクリニックの開催

>MISSION 2025

ゴールキーパープロジェクトとストライカー養成を行う。

>MISSION 2030

ユース年代の日本代表候補選手の海外遠征

>ACTION 2025

U15年代の5人制や8人制の大会を各地域で創設する。

>ACTION 2025

普及委員会と連携し、各地域でU15やU12年代のサッカー教室を地域で開催する。

>ACTION 2025

各都道府県でGKコーチを中心にU15とU18年代でGKプロジェクトとストライカープロジェクトを開催する。

>ACTION 2030

- ・スポンサーの獲得
- ・全国の知的障がい者サッカーの普及とユース年代の育成、指導者の養成
→日本代表へのパスウェイ



>MISSION 2025

各地域、都道府県指導者研修会の開催の継続

>MISSION 2030

地域トレセンの認定制度の導入



>ACTION 2025

- ・各研修会での2021技術委員会のビジョンの共有、世界大会の映像や代表合宿の映像、もうひとつの高校選手権の映像などから現在の成果と課題をレクチャーしていくことを続ける。
- ・グループワークなどで自分たちの地域の課題克服についての計画を自分たちで作成し実行してもらう。

>ACTION 2030

- ・地域トレセンの指導力のレベルアップを図るため、トレセンチーフ・スタッフについては下記のようなライセンス所持を目標とし、技術委員会による認定制度を設ける

地域トレセンチーフ

＝JFA B級ライセンス保持者＋JFFID B級（2023年には必須条件とする）

地域トレセンスタッフ

＝JFA C級ライセンス保持者＋JFFID B級（2024年には必須条件とする）

> MISSION 2022

各地域に普及担当者を配置

> MISSION 2022

裾野を広げる---サッカー教室参加者を増やす

> MISSION 2025

普及担当指導者ワークショップを開催

> MISSION 2025

各地域でサッカー教室を開催（キッズ・青年・シニア）

> MISSION 2030

サッカーファミリー全体の繋がりづくり



> ACTION 2022

現状は関東連盟のみ普及委員会を設置。各地域連盟で普及担当者を増やす。

> ACTION 2022

- ・キッズ、青年、シニア、それぞれの年代がサッカーを楽しむ活動を展開
- ・各地域でサッカー教室開催を目指す。

> ACTION 2025

指導者派遣(巡回)を通じてサッカー教室担当者ワークショップを開催

> ACTION 2025

- ・現状は限られた地域で行われるフェスティバル、サッカー教室に留まっているが徐々に開催地域や回数を増やしていく。
- ・専門人材とボランティアの育成や確保を試みる。
- ・同時にサッカーのできる環境の整備と確保を図る。

> ACTION 2030

- ・9地域に普及委員会を設置、また全国30FAに普及担当委員を配置
- ・全国9地域でキッズ・老若男女がサッカーを楽しめる環境作りを目指す。
 - サッカー教室等で利用する会場の質的向上
 - 全国9地域、30都道府県でサッカー環境・質の向上
- ・国内に於ける知的障がい者サッカー・フットサルをさらに発展させる。

>MISSION 2025

女子日本代表の組織化

>MISSION 2025

各地域での基盤を安定

>MISSION 2030

女子単独チームの普及

>MISSION 2030

女子の大会を新設（8人制も検討）

>ACTION 2025

選手・スタッフ体制、強化方針の策定、スポンサー確保、国際大会誘致

>ACTION 2025

7地域（北海道、東北、関東、東海、関西、中四国、九州）に女子委員会の設置、
30知的障がい者サッカー連盟に女子委員会の設置
→女子選手の発掘と普及、女子トレセンを各地域で開催

>ACTION 2030

各都道府県（30知的障がい者サッカー連盟）の半数程度に、女子単独チームまたは女子トレセンを作る。

>ACTION 2030

地域女子トレセンリーグ、女子チャンピオンシップの実施
→2029にプレ大会開催



>MISSION 2021

定期的な女子委員会の開催

>MISSION 2023

ライセンスを持つ指導者を増やす

>MISSION 2023

委員会の連携（技術・普及・フットサル等）

>MISSION 2025

各地域での基盤を安定

>ACTION 2021

- ・年間4回程度の女子委員会開催（リモート含む）
- ・委員会内の役割分担の整理
- ・定期的な活動の計画と実施
- ・現在のスタッフは女性9名、男性5名だが、過半数を女性で構成し女性スタッフが活動しやすい環境を目指す。
→アスリート部の設置
→JFFIDに女性理事を選出

>ACTION 2023

JFA C級・B級ライセンス、JFFID B級ライセンス、JFA審判ライセンス、トレーナーライセンス、インクルーシブフットボールコーチ、JPC女性スポーツ委員会研修等に女性指導者が参加していく。

>ACTION 2023

- ・ライセンスを取得した女性指導者を技術委員会へ派遣
- ・普及委員会、フットサル委員会と連携し、サッカー教室の計画・開催・指導に当たり、女性審判員の養成も行っていく。

>ACTION 2025

- ・7地域（北海道、東北、関東、東海、関西、中四国、九州）に女子委員会を設置し、30知障がい者サッカー連盟に女子委員会を設置する。
→女子選手の発掘と普及、女子トレセンを各地域で開催
- ・財源の安定化
→JFFID個人登録費、クラウドファンディング、助成金、WEリーグとのコラボ、スポンサー確保、地域毎の予算化など

>MISSION 2025

世界ランキング6位以内

2023フランスで行われるGLOBAL GAMESにおいて、5位以内に入賞し、世界ランキングを引き上げる。

＊世界大会のチャンピオンシップカテゴリーはランキング8位以内の国で争われる。ランキングポイント獲得には、国際大会、各大陸(例:アジア)大会、国際親善試合等での成績が反映される。

>MISSION 2030

世界ランキング4位以内

2031年の世界大会でベスト4、準決勝進出。
フットサル日本代表のプレーモデルが確立され、ミニサッカーではなく、フットサルをプレーする国として世界に認知される。



>ACTION 2025

選手の発掘、強化(競争)

- ・キャラバン、大会視察を通じて、フットサルに適性のある新規選手を発掘
- ・現在30名程の日本代表候補選手ラージグループを50名まで増やす。
- ・日常的にフットサルをプレーすることができる環境（東京モデル）を創設する。
→健常者チームへの所属、フットサル東京選抜等

>ACTION 2025

スタッフの質の向上

- ・JFFID日本代表規定に従ったJFA指導者ライセンスを取得し、フットサルの競技特性と、知的障害の障害特性を理解しているスタッフを増やす。
- ・スタッフも競争の場に身を置き、代表活動だけでなく、選手の日常のトレーニングにおいても主体的に行動できるスタッフを全国で10名に増やす。

>ACTION 2030

フットサル選手の育成

- ・2015、2019年の世界大会を分析した日本代表のプレーモデルを2年ごとにブラッシュアップし、世界大会で勝利するための方法を確立する。
- ・プレーモデルを体現できるよう、週2回以上フットサルをプレーする選手20名、フットサルの指導者20名が、全国各地で活動している環境を作る。
- ・フットサルの地域対抗戦(例:東日本選抜vs西日本選抜)の実施

>ACTION 2030

普及としてのフットサルの活用

- ・同じFootballファミリーとして、普及委員会、女子委員会と連動し、サッカー&フットサル教室を年4回実施する。
- ・11人制が難しいカテゴリーにおいても、フットサルの有用性を活用し、裾野を広げる(普及)ことで、三角形の頂点を高く(強化)する。

>MISSION 2025

5地域、10FAにフットサル委員(担当者)を設置

各地域のフットサル委員と、JFFIDフットサル委員会が方向性を共有し、地域のニーズとJFFIDの活動について双方向にコミュニケーションが取れる体制を2022年度中に確立する。

フットサル委員には、知的関係者だけでなく、Fリーグ関係者やフットサル経験者など、出身を問わず主体的に活動できる人材を紹介する。

→現状:関東、関西、九州の3地域にフットサル委員会設置

>MISSION 2030

7地域、15FAにフットサル委員(担当者)を設置

2025年の組織をさらに充実させ、各地域フットサル委員会のもとで、自立したフットサル事業が行われる。委員会内では、総務／技術／普及の役割が明確にされ、担当者が複数いる体制を整備する。地域の役割から拡充し、他の地域と連携した事業を展開する。

>ACTION 2025

フットサル委員の明確化

- ・各地域のフットサル委員を明確にし、名簿を作成する。
- ・JFFIDの調査をもとに、各地域のフットサル委員を選出し、2022年中にフットサル委員オンラインMTGを開催する。
- ・各フットサル委員は、地域のFリーグ、地域リーグ、都道府県リーグ等、身近で活動するチームや指導者の方に声をかけ、普及・強化両面で協力体制を築いていく。

>ACTION 2025

地域でのフットサル教室、フットサル大会の実施

現在はフットサルキャラバンとしてJFFIDフットサル委員が各地域を巡回し、フットサル教室等を実施しているが、その頻度は年/3ヶ所程度である。地域のフットサル委員が、担当地域でまずは「フットサル教室」と「フットサル大会」を実施する。JFFIDフットサル委員会からも、これまでのモデルケースを提示したり、運営をサポートすることで、自立した事業が各地で行われるよう導いていく。

>ACTION 2030

フットサル委員会の充実

上記名簿の更新や、オンライン会議を継続し、7地域、15FAにおいて、フットサル委員会(委員が複数人)を整備する。また、委員会内において、総務／技術／普及の役割を分担し、地域同士が連携できる体制を整備する。

→例)フットサル東日本大会、都道府県～地域トレセン活動等

>ACTION 2030

事務局員の充実

将来的な「日本知的障がい者フットサル連盟」設立を視野に入れ、法人化やガバナンス整備、組織体制強化、スポンサー獲得などに従事する人材を確保する。

→JFFIDを例に、法人化に向けたロードマップを作成する。

> MISSION 2025

ガバナンスコード43項目のクリア

> MISSION 2025

地域連盟と都道府県連盟との連携強化と組織作り

> MISSION 2025

コンプライアンス関連規程のブラッシュアップ

> MISSION 2025

連盟組織の運営の安定的運営と組織の見直し

> MISSION 2030

30府県での知的障害者サッカー連盟の設立

> MISSION 2030

15の都府県サッカー協会に障害者部門を設立
各都道府県連盟の組織化と委員会の設置

> ACTION 2025

理事の構成、女性理事の登用、弁護士積極的な登用に課題が残っているので、団体全体で情報を集め人材の絞り込みをし、団体運営が円滑に動くような役員構成にしていく。

> ACTION 2025

- ・情報の共有と情報共有システムの整理
- ・各地域連盟に総務委員会、普及委員会、技術委員会、女子委員会などの委員会の設置
- ・JFFID全国カンファレンスの開催
- ・各委員会ごとの全国規模の定例会の開催

> ACTION 2025

- ・コンプライアンスの更なる強化と指導の徹底を図る。

> ACTION 2025

- ・事務局専属の職員の配置
- ・各種委員会での役割分担の明確化と委員会内の業務の細分化
- ・スポンサー獲得に向けて広報部、マーケティング部の設立

> ACTION 2030

- ・連盟設立の手順をマニュアル化し、各都道府県への働きかけ
- ・障害者スポーツ協会への働きかけ
- ・JFFID主催大会、指導者講習会での働きかけ

> ACTION 2030

- ・国体開催地に知的障がい者サッカー連盟設立を働きかけ
- ・47都道府県サッカー協会との協議
- ・各都道府県に総務委員会、普及委員会、技術委員会、女子委員会などの委員会の設置

> MISSION 2022

役員関連規程の運用開始

> MISSION 2025

役員関連規程のブラッシュアップ
役員となり得る人材を育成する。
事務局職員の正式採用

> MISSION 2030

役員関連規程のさらなるブラッシュアップ

> ACTION 2022

- ・ 将来を見据えた役員規定
- ・ 役員候補者推薦委員会規程と役員候補者選任規程の制定
- ・ 理事の任期を2年5期までとし65歳定年とする。

> ACTION 2025

- ・ 理事の候補となり得る人材を各委員の責任に於いて次世代候補として育成し、適切な時期に配置する。
- ・ 女性理事の登用
- ・ アスリート委員から少なくとも1名の理事を登用する。
- ・ 事務局職員を社員として正式採用する。

> ACTION 2030

- ・ 女性理事の割合を40%まで引き上げる



>MISSION 2023

スポンサー獲得に向けて広報部、マーケティング部の設立

>MISSION 2025

継続的なスポンサー（パートナー）獲得

>ACTION 2023

スポンサー収入を年間1,000万円を目指す

>ACTION 2025

スポンサー収入年間1,000万円以上の安定収入を得る

>年度別予算案

2022年度

■収入

前年度繰越	7,700,000
会費等	1,500,000
補助金	5,000,000
大会参加費	8,100,000
研修参加費	1,000,000
スポンサー	3,000,000
寄付金	5,400,000
合 計	31,700,000

■支出

加盟費	310,000
サッカー合宿	8,000,000
サッカー遠征	15,000,000
Futsal合宿	1,000,000
Futsal遠征	0
女子委員会	100,000
普及委員会	50,000
大会研修開催	6,500,000
事務経費	600,000
予備費	140,000
合 計	31,700,000
■収支	±0

2023年度

■収入

前年度繰越	0
会費等	1,500,000
補助金	5,000,000
大会参加費	6,900,000
研修参加費	1,000,000
スポンサー	10,000,000
寄付金	0
合 計	24,400,000

■支出

加盟費	310,000
サッカー合宿	3,000,000
サッカー遠征	0
Futsal合宿	3,000,000
Futsal遠征	10,000,000
女子委員会	200,000
普及委員会	200,000
大会研修開催	6,500,000
事務経費	600,000
予備費	190,000
合 計	24,000,000
■収支	+400,000

2024年度

■収入

前年度繰越	400,000
会費等	1,600,000
補助金	5,000,000
大会参加費	4,500,000
研修参加費	1,000,000
スポンサー	10,000,000
寄付金	0
合 計	22,500,000

■支出

加盟費	310,000
サッカー合宿	6,000,000
サッカー遠征	0
Futsal合宿	2,000,000
Futsal遠征	0
女子委員会	500,000
普及委員会	500,000
大会研修開催	7,500,000
事務経費	1,200,000
予備費	190,000
合 計	18,200,000
■収支	+4,300,000

2025年度

■収入

前年度繰越	4,300,000
会費等	1,700,000
補助金	5,000,000
大会参加費	4,500,000
研修参加費	1,000,000
スポンサー	10,000,000
寄付金	0
合 計	26,500,000

■支出

加盟費	310,000
サッカー合宿	9,000,000
サッカー遠征	0
Futsal合宿	2,000,000
Futsal遠征	0
女子委員会	500,000
普及委員会	500,000
大会研修開催	7,500,000
事務経費	1,200,000
予備費	190,000
合 計	21,200,000
■収支	+5,300,000

2026年度

■収入

前年度繰越	5,300,000
会費等	1,700,000
補助金	5,000,000
大会参加費	8,100,000
研修参加費	1,000,000
スポンサー	10,000,000
寄付金	4,100,000
合 計	35,200,000

■支出

加盟費	310,000
サッカー合宿	9,000,000
サッカー遠征	15,000,000
Futsal合宿	1,000,000
Futsal遠征	0
女子委員会	500,000
普及委員会	500,000
大会研修開催	7,500,000
事務経費	1,200,000
予備費	190,000
合 計	35,200,000
■収支	±0

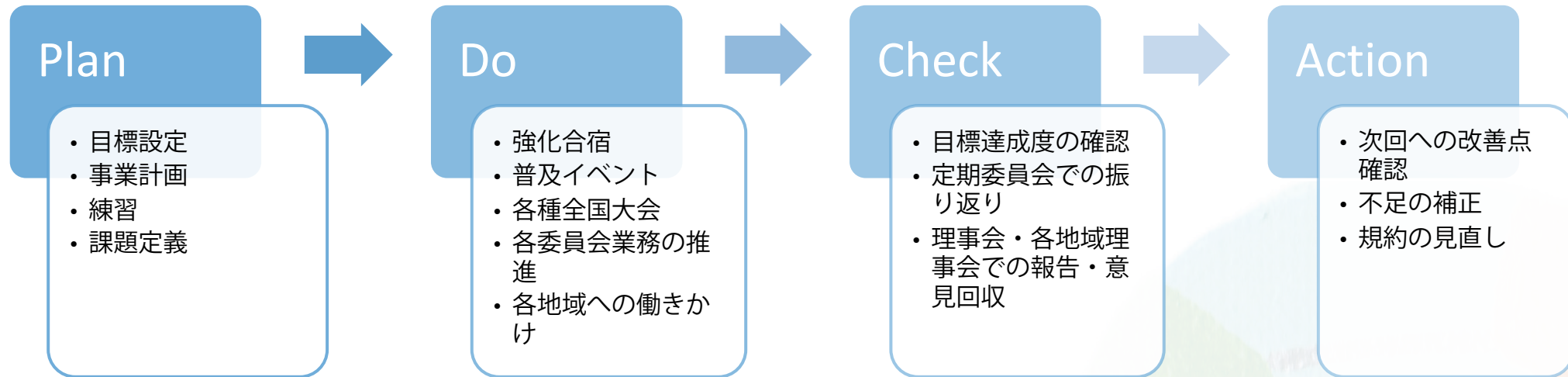
2027年度

■収入

前年度繰越	0
会費等	1,700,000
補助金	5,000,000
大会参加費	6,900,000
研修参加費	1,000,000
スポンサー	10,000,000
寄付金	1,600,000
合 計	26,200,000

■支出

加盟費	310,000
サッカー合宿	3,000,000
サッカー遠征	0
Futsal合宿	3,000,000
Futsal遠征	10,000,000
女子委員会	500,000
普及委員会	500,000
大会研修開催	7,500,000
事務経費	1,200,000
予備費	190,000
合 計	26,200,000
■収支	±0



MODEL PLAN	Plan	Do	Check	Action
日本代表(Football / Futsal)	2ヶ月半前	強化合宿	1週間後	1ヶ月以内
指導者研修	2ヶ月前	研 修	最終日	2週間以内
各種全国大会	6ヶ月前	大 会	2週間以内	2ヶ月以内
女子サッカー教室	3ヶ月前	教 室	1週間以内	3週間以内
キッズサッカー体験会	2ヶ月前	体験会	1週間以内	2ヶ月以内
理事会および各種委員会	1ヶ月前	理事会、委員会	1ヶ月以内	1ヶ月以内

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

3 すべての人に
健康と福祉を



>MISSION 3

あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する。

5 ジェンダー平等を
実現しよう



>MISSION 5

ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る。

10 人や国の不平等
をなくそう



>MISSION 10

国内および国家間の不平等を是正する。

>ACTION 3

老若男女を問わず、サッカー教室やインクルーシブサッカー大会等を開催し、心身共に健全で生涯を通じてサッカーを楽しむ環境を整える。

>ACTION 5

女子選手が活躍出来る場を創り、女性理事の登用を図り、偏りの無いサッカー環境を整える。

>ACTION 10

国内大会に於ける差別等の不平等を無くし、国際大会参加を通じてナショナルチームとの交流を図る。
また、外務省の受託事業としてアジア諸国へ知的障がい者サッカーの普及を図る。

JFFID

※濃い青は担当理事設置（2022/2/1 現在）

18